

日本発ドイツ便り：ビールの散歩道（前篇）

ある日、友人の友人に誘われて、遠足に出かけました。ニュルンベルクから1時間に1本しかないローカル鉄道に乗って出かけた先はFränkische Schweiz(フランケン・スイスと呼ばれる、なだらかな山岳地帯)。



こんな窓の大きなパノラマ鉄道です。車窓からの風景の素晴らしいこと！



こんな駅（もちろんホームがあるだけの無人駅です）で降りました。



目的は、左の写真に載っている、この地域の5件の醸造所を回る、というハイキングコースのようです。☺ Bierreise (ビア・ライゼ：ビール旅行) とまではいきませんが、ビールを飲むのが目的というハイキングですね。



駅から見えたこの教会が1件目の醸造所です。修道院のビール醸造所です。
ここはビアガーデンもなかなかいい雰囲気でした。



この醸造所だけで、これだけの種類のビールが作られているようです。グラスもビールに合わせて色々。
ここで私は初Radler（ラードラー：ビールをレモネードで割ったもの）の味を覚えて、はまりました。



途中の風景もとってもきれいです。



これはところどころにあった、Karpfen (カフプフェン：鯉) の養殖場



Lillach のカルスト湧泉。ここから湧き出す水が、Regnitz (レグニッツ河) →Main (マイン河) →Rhein (ライン河) を通って、そして最後は Nordsee (北海) まで流れるそうです。澄んだ水がとってもきれいな小川でした。このあたりには、珍しい昆虫や生物がたくさんいるようです。



ところどころ、木にこんなマークがついています。そういえば中学や高校生のとき「オリエンテーリング」ってやりませんでしたか？まさにあれです。



Ostem (オースタン。英語では Easter、復活祭) は終わった後でしたが、Ostem の飾りがまだいろんなところに残っていました。Ostem の飾りといえば、色を付けた卵です。(あとはウサギとヒヨコと水仙の花!)



こんなところや



こんなところを通りながら、次の醸造所へ。

後編に続く。